

令和5年度第3号会報発行にあたり

全国の防災エキスパート(高速道路サポーター)会員の皆さま、日々の活動お疲れ様です。また本会報をお読みいただいている皆さま、今後も防災エキスパート活動にご理解とご協力をお願いいたします。

今号は、中日本高速道路(株)村上様にメッセージを頂きました。

本会報を最後までお読みいただき、防災エキスパートについてより理解を深めていただければ幸いです。

(事務局本部)

「令和6年度能登半島地震を経験して」

防災エキスパート運営連絡会委員

中日本高速道路(株)保全企画本部

保全担当部長兼社長COO付防災担当部長

村上 修一



防災エキスパート会員並びに関係者の皆様には、日頃より高速道路事業へのご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年1月1日(月)16時10分に石川県能登地方において最大震度7の地震が発生しました。

このたびの令和6年能登半島地震にかかる災害等により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申しあげますとともに、被害に遭われた全ての方々に心からお見舞いを申しあげます。

当社における地震規模としては、震源地から約110km離れた北陸道金沢森本ICの地震計で最大計測震度5.4を観測し、北陸自動車道の丸岡IC～朝日IC(中日本管内)及び東海北陸道の白川郷IC～小矢部砺波JCTが通行止めになりました。



中日本管内通行止め範囲

幸いにして、緊急交通路として消防や自衛隊等の緊急通行を行うとともに、翌1月2日(火)21時に点検、応急復旧対策の完了に伴い、一部車線規制を残し通行止めを解除しました。

主な被災状況は、盛土のり面崩落、路面クラック、橋梁ジョイントでの段差などが発生しました。



北陸道⑦202.6kp
盛土のり面崩落



北陸道⑦193.1kp
走行路面クラック

今回の地震においては、次のような課題を改めて確認する事ができました。

・安否確認について、当社は、事象発生支社と本社を対象として実施しているが、帰省や旅行による該当地域に滞在している可能性を踏まえた安否確認をする必要がある

・非常参集要員が圧倒的に足りないことから、限られた人員で状況把握・点検・災害復旧対応を行う必要がある

・大津波警報発令下での点検の在り方
・地震国日本においては、大地震はいつでも・どこでも発生することを念頭に自宅防災に取り組む

※当該地域の自宅防災の意識は、太平洋沿岸地域に比べて相対的に低い

当社管内は、発生確率の高い南海トラフ地震や首都直下地震の影響を受ける地域を通過していることから、今回の地震対応を検証しながら対応してまいります。

これまで能登半島地震について触れてきましたが、今年発生しました雪害について述べさせていただきます。

1月24・25日には名神高速道路において上下線で約1,200台の大規模滞留車両が発生し自衛隊の応援を仰ぎました。また、2月5・6日には首都圏を中心に広範囲の通行止めを実施しました。大規模滞留事象については、昨年の新名神における対策は実施していたものの、新たな課題が露呈しました。今後、しっかりと再発防止対策を実施してまいります。

昨今、異常気象によるさまざまな事象が発生しています。防災エキスパート会員の皆様には災害時の復旧支援はもちろん、平時の繋がりが重要と考えております。基本点検・防災訓練・勉強会などの場を通じて、皆様の豊かな経験と知識をNEXCOグループ一同に技術伝承していただき、防災対応力の強化につなげていただければと考えております。今後とも引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

令和5年11月～令和6年1月に報告があった支部の活動状況について情報共有します。

関東支部

活動名	支部会議
実施日	令和5年11月6日(月)
場所	ネクスコ東日本エンジニアリング

【内容】

- 防災エキスパート全国の活動状況
- 関東における防災に関する近況
- 防災エキスパート関東支部の活動報告
- 防災に関する特別講演会

演題:「巨大災害におけるインフラ・ライフライン被害の特徴と課題」

講師:庄司 学先生(筑波大学教授)

【参加者】一般会員:11名、グループ会員:4名、

NEXCO社員7名

一部グループ会員はZoomにて参加



活動名	地域防災対策連絡会
実施日	令和 5年 12月14日(木)
場所	関東支社水戸管理事務所 会議室

【内容】令和5年度 水戸管理事務所地域災害対策連絡会

- 地域災害対策連絡会規約について
- 地域災害対策連絡会事務局報告
- 応急復旧業務計画(災害協力会社)

【参加者】一般会員1名

東京・八王子支部

活動名	支部会議
実施日	令和 5年 12月14日(木)
場所	エンジ東京本社

【内容】

- 東京・八王子支部防災エキスパート活動の活動について
- 「i-MOVEMENT」
- 「ドローンの現状と課題」
- 「点群データを用いた測量・設計の活用 状況」
- 「当社におけるデータや成果品の蓄積状況」について

【参加者】一般会員:22名、グループ会員22名、

エンジ東京社員 6名、NEXCO中日本東京・八王子支社 7名、

メンテ東名・中央 2名 外部講師 3名 計62名



名古屋・金沢支部

活動名	工事に関する技術支援	活動名	技術講習会
実施日	令和 5年 11月20日(月)	実施日	令和5年12月19日(火)
場所	金沢支社富山高速道路事務所	場所	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 金沢支店会議室
【内容】 ・ 城端トンネルⅡ期線工事 I期線工事(避難坑TBM施工)においてTD240か所で崩落発生個所のⅡ期線工事を行うにあたっての施工(補助工法)に関する打合せ及び工事における留意点について意見交換。 【参加者】 一般会員: 1名、NEXCO東5名、建設会社2名		【内容】 「過去の事故復旧から学ぶこと」と題して、2012年12月2日発生した「笹子トンネル天井板落下事故」を受け、下り線の交互通行により、天井板撤去、施設設備、舗装工事を行い、12月29日開通までの経緯について講演するとともになぜ短時間で開通に至ったか当時のリーダーシップ及び目標に向かって一丸となって進めるために何が必要か伝えたもの 【参加者】 一般会員1名、エンジ名古屋社員	

活動名	工事に関する技術支援
実施日	令和 6年 1月19日(金)
場所	エンジ名古屋名古屋支店
【内容】 エンジ名古屋 名古屋支店が開催する、高速道路名古屋地区防災協議会(定例総会)にて発災時の迅速な対応を目的に、「笹子トンネル天井板崩落事故の対応」と題して、事故時の対応体験談や、地震時の対応について防災エキスパートから講演会を実施した 【参加者】 グループ会員: 1名	



関西支部

活動名	技術伝承(アーカイブプロジェクト)活動定例会
実施日	令和5年11月17日(金) 12月19日(火) 令和6年1月17日(水)
場所	茨木技術研修センター(1-TR)
【内容】 ①ふらっとアーカイブ記事 ②令和6年防災講演会・支部総会案／連絡会用資料案 ③その他 【参加者】 11/17一般会員:12名 グループ会員:2名 12/19一般会員:10名 グループ会員:1名 1/17一般会員:11名 グループ会員:1名	

四国支部

活動名	防災訓練
実施日	令和5年12月14日(木)
場所	四国支社愛媛高速道路事務所

【内容】 川之江保全点検センター 防災講義及び防災訓練への参加
 第1部 10:00～11:20 防災講義 (防災EXP高速道路サポーターによる講義)
 ・防災訓練の意義 ・南海トラフ地震について(横田) ・地震通行止めの基準について(池内)
 第2部 13:00～16:00 エンジ四国川之江(保)従業員主体による発災後の対応訓練
 ・前提条件: 平日10時発災 愛媛県内最大震度7
 津波到着時間(四国中央市3時間51分 +1m) 川之江(保)で停電中
 ⇒ 発災からの初動対応～24時間以内の各班の対応を確認
【参加者】 グループ会員2名、E四国 26名、協力会社(5社 7名) 計35名



▶高速道路エキスパート会員数

防災エキスパート会員数

令和5年12月末時点

一般会員：NEXCOグループ会社以外の会員 / グループ会員：NEXCOグループ会社の会員

令和5年度活動実績

各支部におかれましては、今後の活動計画を立案される際に、「防災会員専用ページ」や本会報で他支部の活動も確認できますのでご参考ください。

令和5年度 防災エキスパート活動状況

- 【支】支部会議、【講】講演会(支部主催・共催)。
- 【出】出前講座、技術講習会
- 【点】基本点検(会議等含む)、【訓】防災訓練
- 【研】講演会等の参加、【調】連絡調整会議等
- 【災】災害支援、【他】その他
- 【ボ】被災地ボランティア活動

凡例

従前より、平常時の活動として防災エキスパート会員の被災地ボランティア活動へ支援を行っていますが、加えて令和3年度より、下記のとおり「防災エキスパート」会員以外の被災地ボランティア活動へ支援も運用しています。

防災意識・スキル向上のための被災地ボランティア活動の支援制度

- 将来の高速道路サポーターとなる高速道路会社社員のあなた、高速道路会社のグループ会社社員のあなたが対象です。
- 旅費交通費・宿泊費等を支援します。

【対象者】 高速道路会社の社員、高速道路会社グループ会社の社員

【どういう場所】 安全が確保されている活動の場であること

例) 活動の場である被災地にて行政・現地福祉事務所や災害ボランティアセンター等が運営するボランティアセンターが設置運営されていてその団体がボランティアを募集していること

【活動区分】 独自で行うもの

支部等が企画したボランティア活動に参加するもの

【手続き方法】 ボランティア活動実施に伴う事前手続きについては、高速道路調査会ウェブサイトをご覧ください。
※申込みは、事務局支部が窓口になっております。

報告

石川県能登半島における災害ボランティア活動

被災地ボランティア活動の支援制度を活用した活動報告

NEXCO中日本 御殿場保全サービスセンター 山田様が2/12～16に石川県能登半島ボランティア活動に参加されました。

【報告】石川県能登半島地震における災害ボランティア活動



2024年2月19日
御殿場(保)



発災から6週間経過した石川県災害対策本部では災害ボランティアセンターに6市6町からの依頼に対して延べ約2200人の活動が継続している状況である。それを踏まえ、防災エキスパート制度を活用し、被災地支援を実施した。★Topics:2/14のと鉄道(七尾-能登中島)運転再開、のと里山海道一部開通

- 実施日 令和6年2月12(月・祝)～16日(金) 9時～16時
○活動場所 志賀町社協災害ボランティアセンター
七尾市災害ボランティアセンター
○内容 被災者の支援活動 (羽咋郡志賀町、七尾市田鶴浜)

- 参加者 NEXCO中日本 御殿場HSC 1名
活動の流れ:①→②→③→①

最新の活動状況については、下記HPでご覧いただけます。
<https://prefvc-ishikawa.jimdofree.com/>



地場産業振興センター前集合・受付
→大型バス7:00出発



災害ボランティアセンター9:00到着
→全員オリエンテーションへ



支援者と活動内容のマッチング
→資機材を積んで現地へ出発・活動



被災地の応急復旧は始まったばかり、志賀町&七尾市はまだ手付かずの状況。主要幹線道路「のと里山海道」は隆起地割れの段差有り災害応援車両限定となるが警察による地域外の検問ルートは概ね通行が確保されていた。富来地域ボラセンター避難所ではNEXCOトイレカー4台と給水車が活躍中。SA、PAを防災拠点としての整備や地域連携における協定締結に取り組んで行く必要がある。

情報共有

防災エキスパート会員専用ページをご活用ください

「防災エキスパート」活動の情報共有に会員専用ページをご活用ください。

会員の利用にあたっては、IDとパスワードによる認証が必要となります。未登録の方は、利用マニュアルが各支部にありますので、お問い合わせください。

高速道路調査会のウェブサイトを更新しました。

EHRF 公益法人 高速道路調査会
EXRESS HIGHWAY RESEARCH INSTITUTE OF JAPAN

高速道路調査会について Language

EHRF 公益法人 高速道路調査会
EXRESS HIGHWAY RESEARCH INSTITUTE OF JAPAN

高速道路調査会について Language

EHRF 公益法人 高速道路調査会
EXRESS HIGHWAY RESEARCH INSTITUTE OF JAPAN

高速道路調査会について Language



求む!

防災エキスパート会員「講演会説明資料」等のご提供に関するお願い

防災エキスパート会員みなさま、防災エキスパート活動に、ご尽力・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

事務局本部では、これまで皆さま方が防災講演会等で説明頂いた資料につきまして、幅広く活用したく、NEXCO社員、グループ社員へ、記録として伝承していきたいと考えています。

つきましては、皆さま方が講演等に使用されました資料につきまして、ご提供頂きたいお願い致します。

頂きました資料に関しましては、会員専用ページに掲示し、全国の会員の他、NEXCO・グループ社員に共有し、防災意識の向上に役立てて参ります。

《資料提出先》

東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー10階 高速道路調査会
防災エキスパート事務局本部

TEL: 03-6550-9114

FAX: 03-6550-9117

E-mail:

bousaiax@express-highway.or.jp

編集後記

このたびの石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

高速道路調査会は2月5日に主たる事務所を虎ノ門へ移転しました。

新しいオフィスで新しい気持ちで、あらためて防災エキスパート業務に取り組んでおります。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください!

会報を作成するにあたり、今回ご執筆いただいた皆様、ならびに最後までお読みいただいた皆様方にお礼申し上げます。(事務局本部)



- ・災害時の支援活動も、平時の活動と交流があればこそ!!
- ・基本点検、技術伝承、防災訓練等の交流活動から!!